

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1917
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.11, No.4 (1917. 4)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19170401-0153

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

この無い人でも、スミスの「富國論」を云へば、あゝあの自由貿易論かと相槌を打ちて之を繕いて見よふともしない。従つてマルサスの「人口論」が著者生存中に於てさへ之を熟讀したことのない人々に依りて罵倒され其内容が誤傳されたと同じく、「富國論」の内容も亦往々にして素人のみならず専門の學者に依りてさへ誤解曲説されて居ることがある。其一例は之を商業政策に對するスミスの態度に求むることが出来る。世間ではスミスが外國交易に關しては徹頭徹尾自由主義を唱へたかの如く思ふて居る人もある様に見受けられる。尤もスミスが經濟の原理を説明するに當りて國境を超越せる見地に立ちて議論を進めたのは事實である。又、商業政策を論ずる際に自由貿易の効果を力説し、且つ其論據として當時流行の事情からしてスミスが世界主義を根據とせる經濟政策論を講述したのであると思惟され且つ非難されるに至つたのであるが、是れは云ふ迄もなく誤解である。經濟の原理は物理學或は數學の如く萬國共通のものであらねばならぬ。ニエートンの法則が英國に於て眞理であるならば、獨逸に於ても亦日本に於ても適用さるゝに相違ないと同じく、グレンシャムの法則は歐洲に於ても東亞に於ても齊しく或る一定の事情の下に於ては作用す可きものではあるまいか。従つてスミスが價格、地代、賃銀、利潤等に關する理論をば國民とか國家とか云

ふ問題を離れて取扱つたのは至極當然の方法であつて、スミスの論述したる經濟の原則中には誤謬が少くないが、其の研究の態度に就きては秋毫も非難す可き點を見出す事が出来ない。斯くの如く、スミスは理論の解説には國境を無視したのであるが、政策に就きては決して國家と國民の幸福とを忘却しなかつた。夫れは一方に於て極力保護貿易政策を排斥しながら、又一方に於ては國富よりも國防を以て更に一層國家に取りて重要であると云ふ見地よりして英國の海運業を保護する航海條例を稱揚し、或は一外國が差別的關稅を課して英國の工業の發達を阻害せんとせる場合には報復稅を設けることが正當であると論じたのみならず、更に進んで英本國と殖民地間に於ける經濟的結合を鞏固ならしむることを懇願し、今日の流行語を以て之を言ひ表はせば帝國主義とも稱す可き一個の愛國的思想を鼓吹したのを見て明かではないか。以上指摘したるスミスの學說に關する誤解を正す爲に數年前英國經濟學界の鴻儒ニールソン氏は A Project of Empire: a critical study of the Economics of Imperialism, with special reference to the ideas of Adam Smith と題する著述を發表せられた。此書物には政策論上に於けるスミスの態度を正確に傳ふる爲めに一々「富國論」より適當の章句を引用して、スミスが是れ迄一般人に誤解せられ居たことを證明して居る。我行政裁判所評定官たる關口健一郎氏は今回此著述を邦譯し、書名を「アダム・スミスの帝國主義觀」と改めて上梓せられたのであるが、我國に於けるスミスの研究者は一好參考書を得たと云はざるを得ない。

前號(第十一卷) 第三號 目次 (大正六年三月號)

論說

○印度の金融と印度證券 法學博士 堀江 歸一

○「フジオラクラット」の純收 慶應義塾 大學教授 高橋誠一郎

○英國に於ける小農場運動の發展と戦後の土地政策(二) 慶應義塾 大學教授 三邊 金藏

雜錄

○國民主義の研究 慶應義塾 大學教授 占部百太郎

○英國社會運動史に就て(二、完) 慶應義塾 大學教授 小泉 信三

○獨逸爲替相場低落の原因(下) 小林 武男

○利子論上に於ける貨幣數量説(二) 高城仙次郎

批評と紹介

○副島八十六著『帝國南進策』

編輯主任

堀江 歸一 高城仙次郎

●一冊定價 金二十五錢 郵稅金壹錢五厘

●一ヶ年前金 金二圓七十錢 郵稅 共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛

●營業に關する用件は發賣元宛

●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正六年三月卅一日印刷納本 每月一回一日發行 大正六年四月一日發行

三田學會雜誌 禁轉載 第十一卷第三號

編輯兼發行者 石田 新太郎 東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内
印刷者 金子 榮太郎 東京市麻布區龍土町七十五番地
印刷所 金子 活版所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地

發賣元 東京市麴町區有樂町一丁目一番地 山書店

●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す 振替貯金口座東京二四一七番 電話本局二二三二番

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會